

No. 488【2022年1月7日配信】

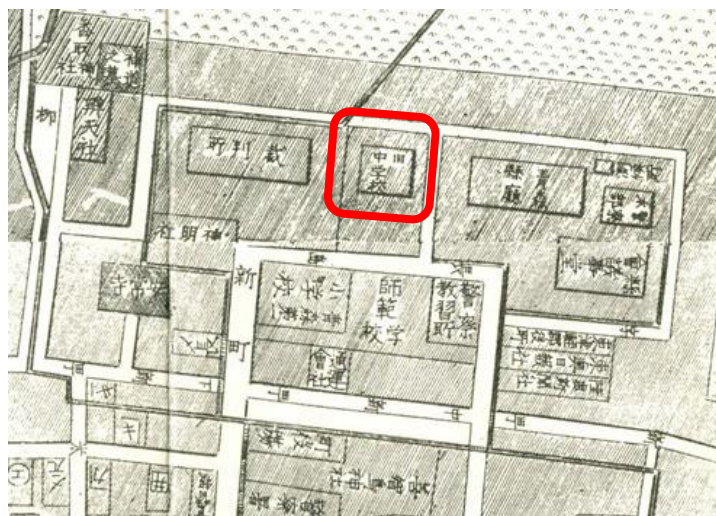
企画展「学び舎の思い出—学校旧跡めぐり」(担当:工藤大輔)

新しい年が始まって、あっという間の1週間。室長の工藤です。今年も「あおり歴史トリビア」をよろしくお願ひいたします。

来週、1月13日(木曜日)から、市民図書館内で歴史資料室が担当している展示がリニューアルされます。タイトルは「学び舎の思い出—学校旧跡めぐり」で、市内の学校の歴史を歴史資料室が所蔵する資料でもってひもといていきます。ただ、青森市は広いので、今回は①堤地区、②松原地区、③橋本・浦町地区、④新町・長島地区、⑤浪打地区、⑥古川・沖館地区の6エリアを取り上げます。

これらのうち私が関わったのは④⑤の一部で、明治22年(1889)5月に現在の青い森公園内にあった青森県尋常中学校(現弘前高校)が弘前に移転してから、そこがどのように利用されてきたのか…に注目しました。

ごく簡単にいうと、東側が青森県物産陳列場となり、西側は学校です。ただ、もともとひとつの学校であった敷地をふたつに分けた訳ですから、校地としては「狭い」のです。ですから、ここに入った青森中学(現青森高校)は広い敷地が必要となり、県は物産陳列場を移転してこれを解決しようとした節があります。



青森県尋常中学校跡
(1892年「青森実地明細絵図」より)

一方、明治43年5月3日の青森大火からの復興を目指す青森市は、この校地を含むいくつかの地所と青森県が所有する地所及び寄附金とで「交換」する話を県に持ち掛けます。この案については曲折があったものの合意に至り、青森中学は合浦公園のそば、現市営野球場の場所に広い校地を得ることになったのです。

展示は市民図書館8階と7階エントランス(エスカレーター横)の2か所で行います。珍しい展示物としては長島小学校創立90周年記念の手ぬぐい、古川中学校でみつかった昭和24年5月20日付「青森市立新町小学校々舎新築」の棟札、そのほか個人情報に配慮しながら「学校誌」「卒業アルバム」等も展示いたします。

展示期間は4月12日までです。

企画展示
**学び舎の思い出
—学校旧跡めぐり**



展示期間: 2022年1月13日(木)
~4月12日(火)

展示会場: 青森市民図書館
7階エントランス
(エスカレーター横)
8階展示!



問合せ: 青森市民図書館歴史資料室 (017-732-5271)

企画展示のポスター